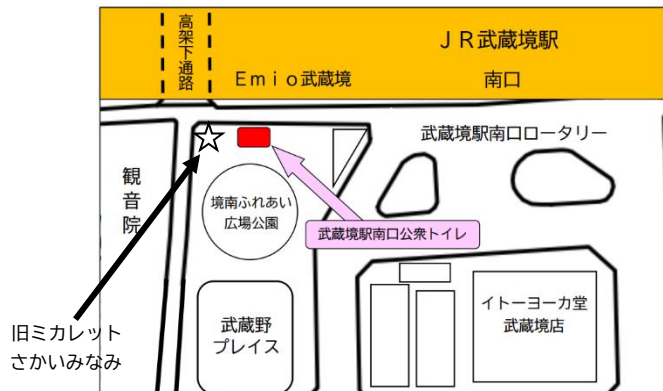


1 トイレ建設の経緯

平成元年築の「旧ミカレットさかいみなみ」は平成30年第4回武蔵野市議会定例会で採択された陳情を受けて、現状に即したトイレの洋式化、バリアフリー化を行う必要があった。また、都市計画道路の計画線上に立地していたため、境南ふれあい広場公園内へ新築・移設工事を行った。



トイレ案内図



武蔵境駅南口公衆トイレ外観

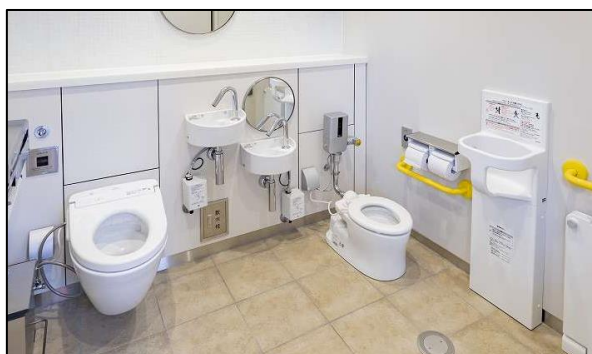
2 デザイン

平成13年から15年にかけて開催された「農水省食糧倉庫跡地に建設する施設を考える新公共施設基本計画策定委員会」において提言のあった「自然との調和を図る」コンセプトにより、境南ふれあい広場公園と武蔵野プレイスは一体的に設計されている。そのため、当該トイレにも武蔵野プレイスとの調和がとれているデザインを採用した。



【設備】

- ① 男子
- ② 女子
- ③ バリアフリースイートイレ
- ④ バリアフリースイートイレ (子供と使える「やさしいトイレ」)



3 施設の特徴

都市公園法により施設の面積が限られている中で、バリアフリー対応のトイレブースとオストメイト、ベビーチェア、ベビーベッド、介助用ベッドを設置している。また、設計業者の数日間に渡る現地調査の結果、公園利用者に親子連れが多いことに着目し、親子で一緒に利用できる「やさしいトイレ」を設置している。これは、大人用、子供用の便器や手洗いの他、ベビーチェアやベビーシートを設置し、入口も双子用のベビーカーでも入れる広さの設計となっている。